

脳卒中ロジックモデル

(第2期脳卒中・心血管病対策推進計画及び第8次青森県保健医療計画(脳卒中対策)に係るロジックモデル)

アウトプット(施策)(A)

番号	項目	現状値	目標値
1	脳卒中の予防や正しい知識、危険因子の改善に関する普及啓発	-	各4回以上
1	県民に対する講演会やSNS、メディア等を活用した普及啓発の実施数(喫煙・飲酒・食塩摂取)	23.7% (R3)	減少
2	高血圧症有病者のうち、服薬していない者の割合	63.6% (R3)	減少
3	脂質異常症有病者のうち、服薬していない者の割合	33.0% (R3)	減少
4	糖尿病有病者のうち、服薬していない者の割合	30.8% (R3)	20.0% ※
5	メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合	31.0% (R3)	26.7% ※
6	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合(男)	20.9% (R3)	14.4% ※
7	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合(女)	(R3)	※
2	特定健診の受診勧奨、特定保健指導の実施		
8	特定健診の実施率	51.4% (R3)	70%以上 ※
9	特定保健指導の実施率	25.8% (R3)	45%以上 ※

初期アウトカム(B)

番号	目標項目	現状値	目標値
1	脳卒中患者の減少		
14	脳血管疾患受療率(入院)(人口10万対)	106.0 (R2)	98.0 (全国値)
15	脳血管疾患受療率(外来)(人口10万対)	63.0 (R2)	59.0 (全国値)

分野アウトカム(C)

番号	目標項目	現状値	目標値
1	脳卒中による死亡者の減少		
19	脳血管疾患の年齢調整死亡率(男)	116.7 (R2)	93.8 ※
20	脳血管疾患の年齢調整死亡率(女)	69.7 (R2)	56.4 ※

番号	項目	現状値	目標値
3	脳卒中の症状、発症時の対応法の普及啓発	-	12回以上
10	県民に対する講演会やSNS、メディア等を活用した普及啓発の実施数		
4	脳卒中の急性期医療に対応できる体制整備		
11	脳梗塞に対するt-PAIによる血栓溶解療法の実施可能な病院数(人口10万対)	0.9 (R5.4)	全国値以上を維持
12	脳梗塞に対する血栓回収療法の実施可能な医療機関数(人口10万対)	0.7 (R2)	0.8 (全国値)

番号	目標項目	現状値	目標値
2	発症後早期に専門的な治療を受けることができる体制		
16	脳梗塞に対するt-PAIによる血栓溶解療法の実施件数(SCR)	78.4 (R3)	100.0 (全国値)
17	脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収療法等)の実施件数(SCR)	117.4 (R3)	全国値以上を維持

番号	目標項目	現状値	目標値
2	日常生活における脳卒中患者の質の高い生活		
21	健康寿命(男)	71.73 (R1)	74.73以上
22	健康寿命(女)	76.05 (R1)	79.05以上
23	在宅等生活の場に戻った脳血管疾患患者の割合	45.0% (R2)	55.2% (全国値)

番号	項目	現状値	目標値
5	生活機能の維持・向上のためのリハビリテーション支援が提供される体制整備		
13	脳卒中リハビリテーションが実施可能な医療機関数(人口10万対)	7.4 (R5.4)	全国値以上を維持

番号	目標項目	現状値	目標値
3	日常生活への復帰、生活機能維持・向上のためのリハビリテーションを受けることができる体制		
18	脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数(SCR)	89.5 (R3)	100.0 (全国値)

●受療率(人口10万対) = 推計患者数 ÷ 推計人口 × 100,000、患者調査(3年に1回)と国勢調査(5年に1回)の実施年が重なる場合には国勢調査人口を使用。百分率ではないため、100を超える場合もある。

●SCR(Standardized Clinim data Ratio) : レセプト数を性・年齢調整したスコア(実測値/期待値)であり、100が全国平均の医療提供状況を示し、100を上回ると性・年齢調整後の人口規模に対して当該医療提供が多い、100を下回ると少ないことを意味する。

※第三次青森県健康増進計画目標値

# 心血管病ロジックモデル

(第2期青森県循環器病対策推進計画及び第8次青森県保健医療計画(心筋梗塞等の心血管疾患対策)に係るロジックモデル)

## アウトプット(施策)(A)

番号	項目	現状値	目標値
1	心筋梗塞等の心血管疾患の予防や正しい知識、危険因子の改善に関する普及啓発		
1	県民に対する講演会やSNS、メディア等を活用した普及啓発の実施数(登壇・動画・直場採取)	-	各4回以上
2	高血圧症有病者のうち、服薬していない者の割合	23.7% (R3)	減少
3	脂質異常症有病者のうち、服薬していない者の割合	63.6% (R3)	減少
4	糖尿病有病者のうち、服薬していない者の割合	33.0% (R3)	減少
5	メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合	30.8% (R3)	20.0% ※
2	特定健診の受診勧奨、特定保健指導の実施		
6	特定健診実施率	51.4% (R3)	70%以上 ※
7	特定保健指導実施率	25.8% (R3)	45%以上 ※

## 初期アウトカム(B)

番号	目標項目	現状値	目標値
1	心筋梗塞等の心血管疾患患者の減少		
13	虚血性心疾患全体入院(SCR)	83.0 (R3)	100以下 (全国値)
14	虚血性心疾患全体(外来)(SCR)	88.6 (R3)	100以下 (全国値)

## 分野アウトカム(C)

番号	目標項目	現状値	目標値
1	心血管疾患による死亡者の減少		
20	心血管疾患の年齢調整死亡率(男)※1	211.3 (R2)	165.5 (全国値)
21	心血管疾患の年齢調整死亡率(女)※1	228.2 (R2)	167.7 (全国値)
22	虚血性心疾患の年齢調整死亡率(男)※2	57.0 (R2)	減少※ 73.0(全国)
23	虚血性心疾患の年齢調整死亡率(女)※2	20.8 (R2)	減少※ 30.2(全国)
24	心不全の年齢調整死亡率(男)	90.1 (R2)	69.0 (全国値)
25	心不全の年齢調整死亡率(女)	63.4 (R2)	48.9 (全国値)
26	大動脈疾患の年齢調整死亡率(男)※3	20.2 (R2)	17.3 (全国値)
27	大動脈疾患の年齢調整死亡率(女)※3	12.8 (R2)	10.5 (全国値)

番号	項目	現状値	目標値
3	急性心筋梗塞等の症状、発症時の対応法の普及啓発		
8	県民に対する講演会やSNS、メディア等を活用した普及啓発の実施数	-	12回以上
9	心肺機能停止傷病者全搬送人数のうち、一般市民により除動が実施された割合	0.7% (R3)	1.3% (全国)
4	24時間心筋梗塞等の心血管疾患の急性期医療の専門的治療が実施できる体制の整備		
10	急性心筋梗塞にかかる治療の実施状況(実施病院数)	・津軽3 ・八戸2 ・青森4 ・西五2 ・上三2 ・北三2 (58病院中) (R3)	二次医療圏毎に1施設以上を維持

番号	目標項目	現状値	目標値
2	心筋梗塞等の心血管疾患の移りかたが、できるだけ早期に疾患に応じた専門的診療が可能な医療機関に到着し、治療を受けることができる体制		
15	急性心筋梗塞(ST上昇型心筋梗塞)患者の発症から来院までの時間(中央値)	166分	短縮
16	PCIを施行された急性心筋梗塞患者のうち、90分以内の運動再開(開通達成率(%)	60.1% (R2)	全国値以上を維持 参考:50.7% (全国)
17	大動脈疾患患者に対する手術件数(人口10万対)	6.5 (R2)	13.3(全国)

番号	項目	現状値	目標値
5	心血管疾患リハビリテーションが実施できる体制の整備		
11	心大血管リハビリテーション科(Ⅰ)届出医療機関数(人口10万対)	0.9 (R5.4)	1.2 (全国)
12	心大血管リハビリテーション科(Ⅱ)届出医療機関数(人口10万対)	0.1 (R5.4)	0.1 (全国)

番号	目標項目	現状値	目標値
3	発症後早期に専門的な治療を開始し、心血管疾患リハビリテーションや再発予防の定期的専門的検査を受けることができる体制		
18	入院心血管疾患リハビリテーションの実施件数(SCR)	45.8 (R3)	100.0 (全国値)
19	外来心血管疾患リハビリテーションの実施件数(SCR)	29.7 (R3)	100.0 (全国値)

●SCR(Standardized Claim data Ratio):「セプト」数を性別・年齢調整したスコア(実測値/期待値)であり、100が全国平均の医療提供状況を示し、100を上回ると性別・年齢調整後の人口規模に対して当該医療提供が多い、100を下回ると少ないことを意味する。  
 ※第三次青森県健康増進計画目標値  
 ※1 心血管疾患の年齢調整死亡率=心疾患(高血圧性を除く)患者の年齢調整死亡率...心疾患には「慢性リウマチ性心疾患」、「慢性非リウマチ性心臓疾患」、「急性心筋梗塞」、「その他の虚血性心疾患」、「不整脈及び伝導障害」、「心不全」が含まれる。  
 ※2 虚血性心疾患の年齢調整死亡率=虚血性心疾患には、「急性心筋梗塞」、「その他の虚血性心疾患」が含まれる。  
 ※3 大動脈疾患の年齢調整死亡率=大動脈瘤及び大動脈解離患者の年齢調整死亡率